

次回例会

期日：5月27日（日）

夜7時～8時半

プログラム

お勤め・法話

話し合い

仏教讃歌練習

※これまで練習した

歌のおさらい

放談会（気楽に雑談しましょう）

◎話し合いテーマ

「正信偈を味わう⑦」

あなたの

こころが

きれいだから

なんでもきれいに

見えるんだなあ

相田みつを

仏教用語の解説③

《縁起》

「縁起が良い、悪い」

「縁起をかつぐ」

「縁起でもない」

「縁起なおし」という言葉が

一般的に使われることがあります。

これらの「縁起」という言葉

の使われ方は、どれもが、未来

の吉凶（善し悪し）を占う意味

や、その吉凶の前触れとしての

意味で使われています。

しかも問題なのは、すべてが

自分に都合の良いことを願い、

自分に都合の悪いことを避けた

り、逃れようとの思いで使って

いることです。

「縁起」という言葉が仏教の

言葉でありながら、こんな使わ

れ方は、なんだかおかしいと思

いません。

そうです。本来「縁起」とは

「因縁生起」という言葉を略し

たもので、「すべてのものは、

さまざま原因（因）や、条件

（縁）によって、成り立ってい

る」という、ものの在りかたの

根本をあらわす仏教の大切な言

合でものごとを見がちな私たち

に、ものごととはすべて相互に関

係し合い、影響し合っている存在す

ることを教えているのです。

確かに、私たちの身の回りの

ものは、食べ物、着る物、なに

からなにも食べ物が、様々な縁に

よつてもたらされています。

たまたま一つの水と太陽の恵みが

あり、お百姓さんの大変なお世

話が、あつて、初めて私に届いて

下さっているのです。

人間は一人ではけっして生き

られず、たくさんの因や縁によ

つて生かされているのです。

他の多くのものはたらきや

恵みを受けて、生かされている

のです。

「縁起」に気づくとは、将来

の自分の善し悪しを占うことで

はなく、今ある自分を、生かさ

れて生きていく「おかげさま」

なのだと思ふかさせて頂くこと

であり、自分もまた、

他を生かさせている存

在であり、自分の勝手

だけに生かされて頂

こととあります。



題材法話

前号からの続き

第1・第2・第3夫人に断られた男は第4夫人のこ
とを思い出すのですが、あ
れだけ粗末に扱ってきたの
だから、当然断られるに決
まっていると思います。
けれど、わらをもつかむ
思いで、「おまえに言えた
義理ではないが、私と一緒に
死んでくれまいか」と頼
みます。

ところが、あにはからん
や、この第4夫人は「私は
貴方とずっと一緒にいるつ
もりでした。よろこんで、
あなたについて行きましよ
う」と応じたのです。
男は「しまった」と思い
ました。「なんでこの第4
夫人をもっと大事にしなか
ったのか」と後悔するの
です。

○仏法に寄り添われて

このお釈迦様のた
とえ話はなにを意味
するのでしょうか？
実は、第1夫人と



は、自分自身の体のことな
のです。一番大事にしてなにより
も可愛がるのですが、人間
としての命を終えるときに
は、必ず別れなければなら
ません。
「夜半の煙となれば、た
だ白骨のみぞ残れり」であ
ります。
第2夫人とは金品財宝の
こととです。どれだけ蓄えて
大事に保管していても、命
を終えるときには、やはり全
て置いていかなければなり
ません。

そして喜びや悲しみを共
に生きてきた第3夫人とは、
家族や親戚縁者等の六親
七族をたえます。死んだ後
には葬式も出し墓も建てて
くれます。
けれどやはり一緒につい
てきてはくれません。
そして最後の第4夫人。
この人こそが仏法なので
あります。

○今、日本の子供達は

「ご縁さん、忙し
ゆうてとてもお寺参
りは・・」「お説教
は、年取ってからで



も・・」と、仏法を粗末に
しがちな私達です。の命
を貫くには、仏法という中
心の糸がなければなら
ないです。
わが身は愛おしいです。
お金儲けも大事です。
家族も大切ですが、
心と糸がなければ人生
という念珠にはならないの
です。

この糸がなければ最後が
むなしく終わるのです。
最近「ユニセフ（国連児
童基金）」という機関が、
世界の子供を対象に「幸福
度調査」といったものを
行いました。
その調査項目の一つに、
「孤独を感じるかどうか」
という調査があったのだ
です。

「孤独を感じる」と答
えた日本の子供の割合は
なんと、29.8%で、調査
した25ヶ国の中で一番多
かったのです。
現在の、日本の子
供のおおよそ3人
に1人が孤独であ
ると感じているの



○真に大切なもの
日本の子供の学力が落ち
てきたからと、今あわて
教育改革が行われています
が、実は学力よりもこちら
の方がずっと大きな問題だ
と思います。
今、子供にとって大事な
ことは、人生を貫く一本の
糸の役割を見つけてやるこ
とだと思います。人生を貫
く糸の役割がないから孤独
に感じるのだと思います。

小さいときから「まんま
んちゃんが見ていてくれる
よ」と育てられた子供であ
れば、孤独を感じることも
ないでしょうし、簡単に人
を傷つけ、いじめることな
りません。
そういう人生の糸が大事
なのです。

仏法・南無阿弥陀仏の糸
に貫かれた生き方を、まず
私達が悦び、そして
子供達に伝えて
いければと願うこ
とであります。了

3月総会

住職法話より

